

県立体育館とスポーツ科学センターの利用状況について

新県立体育館の需要予測に活用するため、合築する予定の県立体育館とスポーツ科学センターの利用状況を調査した。

1 県立体育館

名称	秋田県立体育館
所在地	秋田市八橋運動公園 1-12
築年月	昭和 43 年 10 月（築 54 年）
構造	鉄筋コンクリート造 地上 3 階
面積	建築面積 5,564.58 m ² 、延床面積 7,636.90 m ²
使用可能面数 （大体育場）	バスケットボール 2 面、バレーボール 2 面、バドミントン 10 面 等
観客席数	固定席 2,368 席（2 階 1,719 席、3 階 649 席）
開館時間	9:00～21:00（12/29～1/3 は休館）
年間利用者数	約 11 万人（平成 30 年度）
駐車場	142 台
運営	一般社団法人秋田県総合公社（指定管理者）

稼働率（使用日数換算）

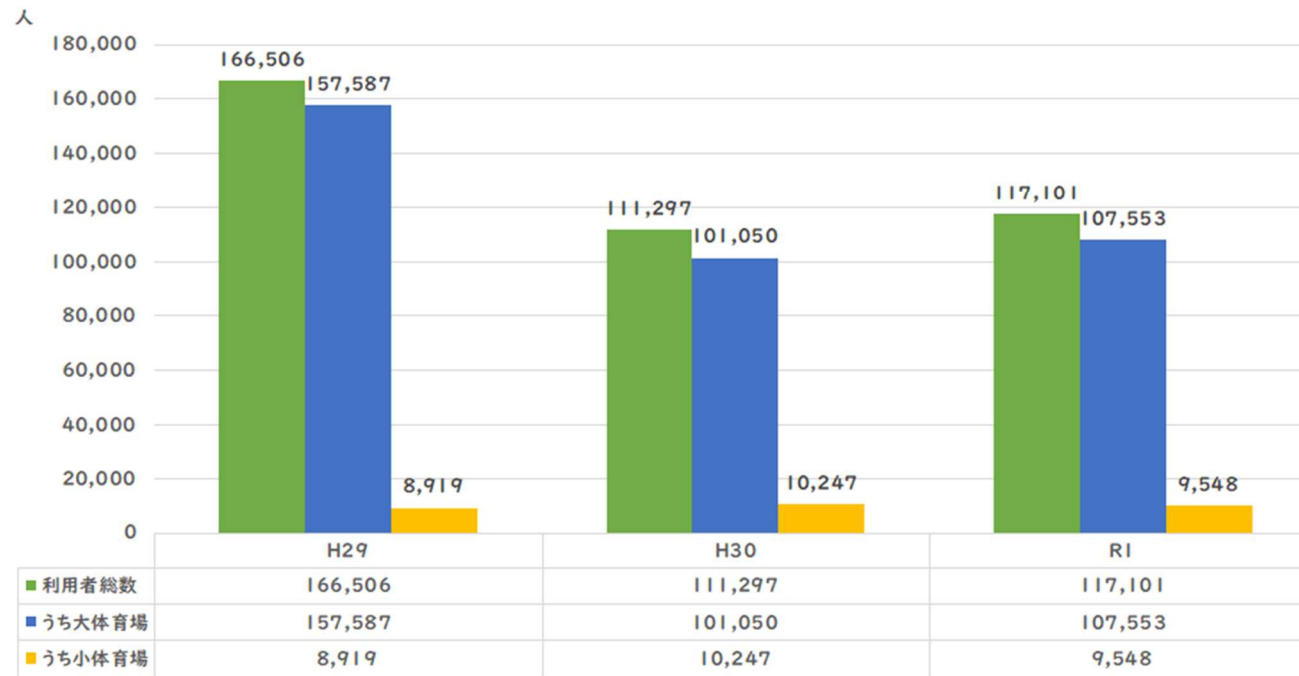
		H29	H30	R1
使用日数	日	355	353	327
稼働率 [※]	%	98.9	98.3	90.8

※休館日（12/29～1/3）を除く、開館日数により計算
平成29～30年度：359日、令和元年度：360日

令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により異常値となっていることから、平成 29 年度（2017 年度）から令和元年度（2019 年度）までの 3 年間の利用者数の推移等を調査した。

また、同感染症発生前の直前年度である平成 30 年度の大体育場の利用状況について、利用時間数の実績を基に稼働率（時間換算）を算出したほか、「利用目的別」、「種目・用途別」に利用者数、利用時間数を分析した。

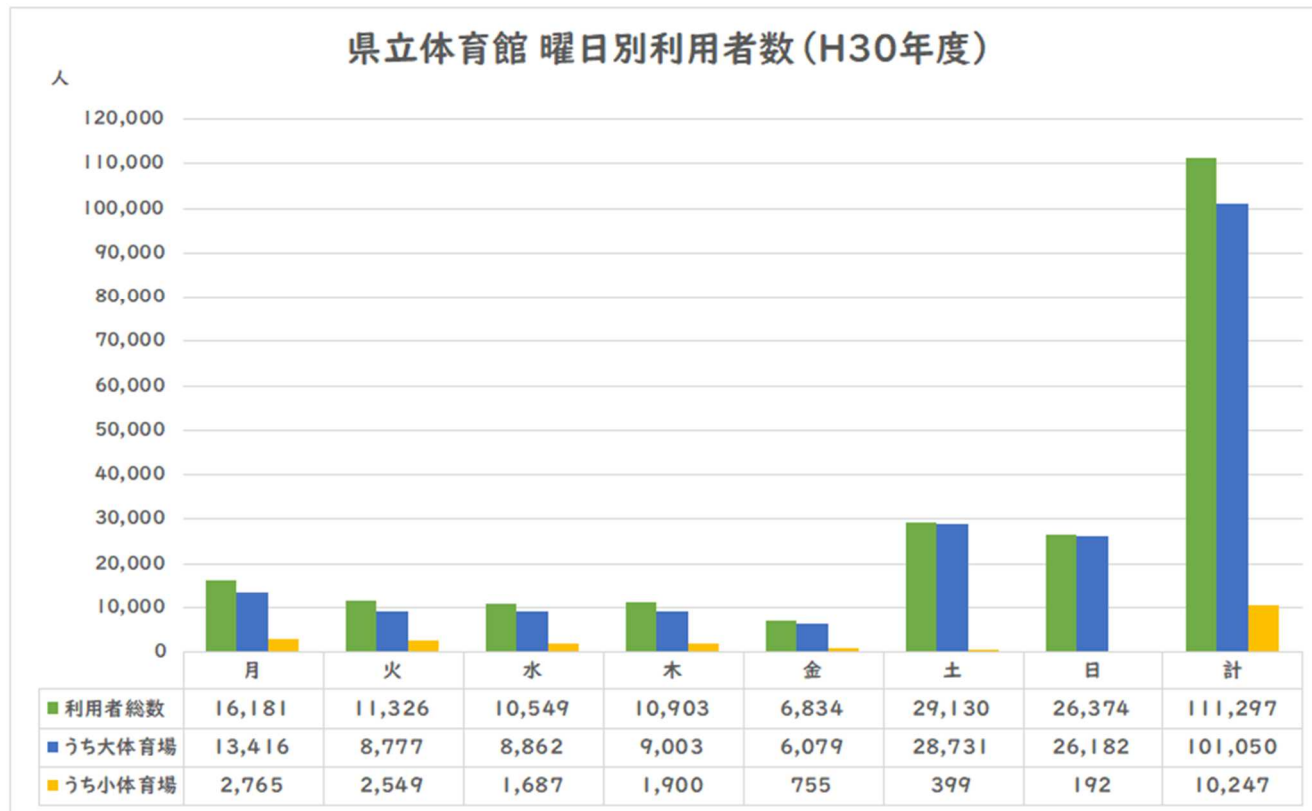
県立体育館 利用者数 (H29~R1年度)



※大体育場、小体育場以外(会議室など)の利用は除く

※大会等で全館貸切で利用するなど、小体育場を付随的に利用している場合については、主目的の大体育場の利用のみを計上している

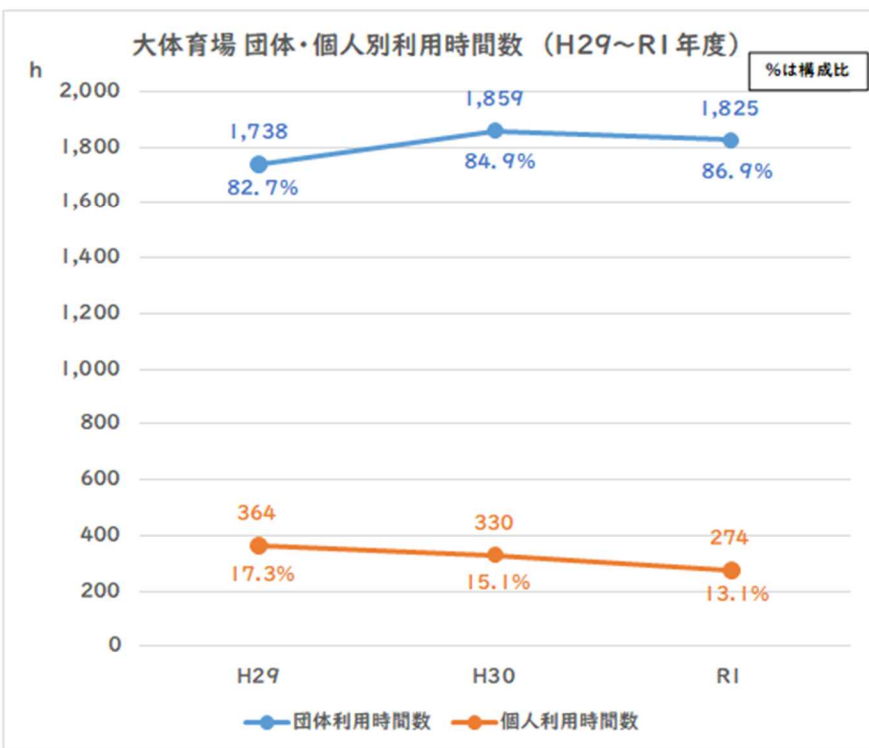
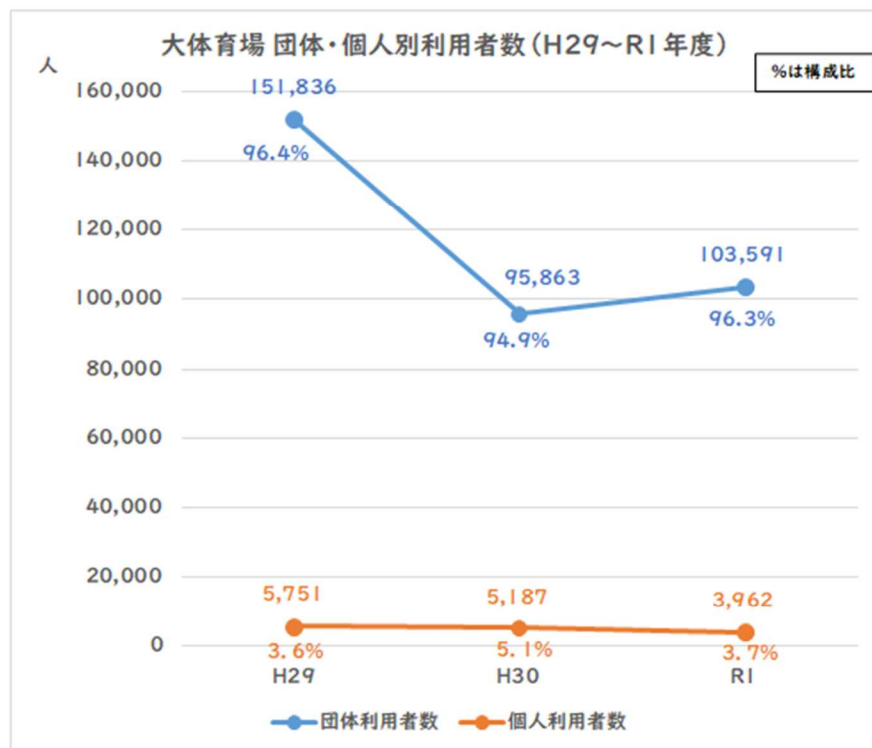
- 平成 29 年度は「第 27 回全国産業教育フェア秋田大会」や地元テレビ局の周年イベントが開催されたことから、過去 10 年間で最多となる 16 万人超の利用者数を記録した。
- 新型コロナウイルス感染症の影響がなかった平成 30 年度及び令和元年度（3 月は予約キャンセルあり）については、利用者数は 11 万人台で推移している。
- 各年度において、大体育場の利用者数が全体の 9 割以上を占めていることが分かった。



※大体育場、小体育場以外(会議室など)の利用は除く

※大会等で全館貸切で利用するなど、小体育場を付随的に利用している場合については、主目的の大体育場の利用のみを計上している

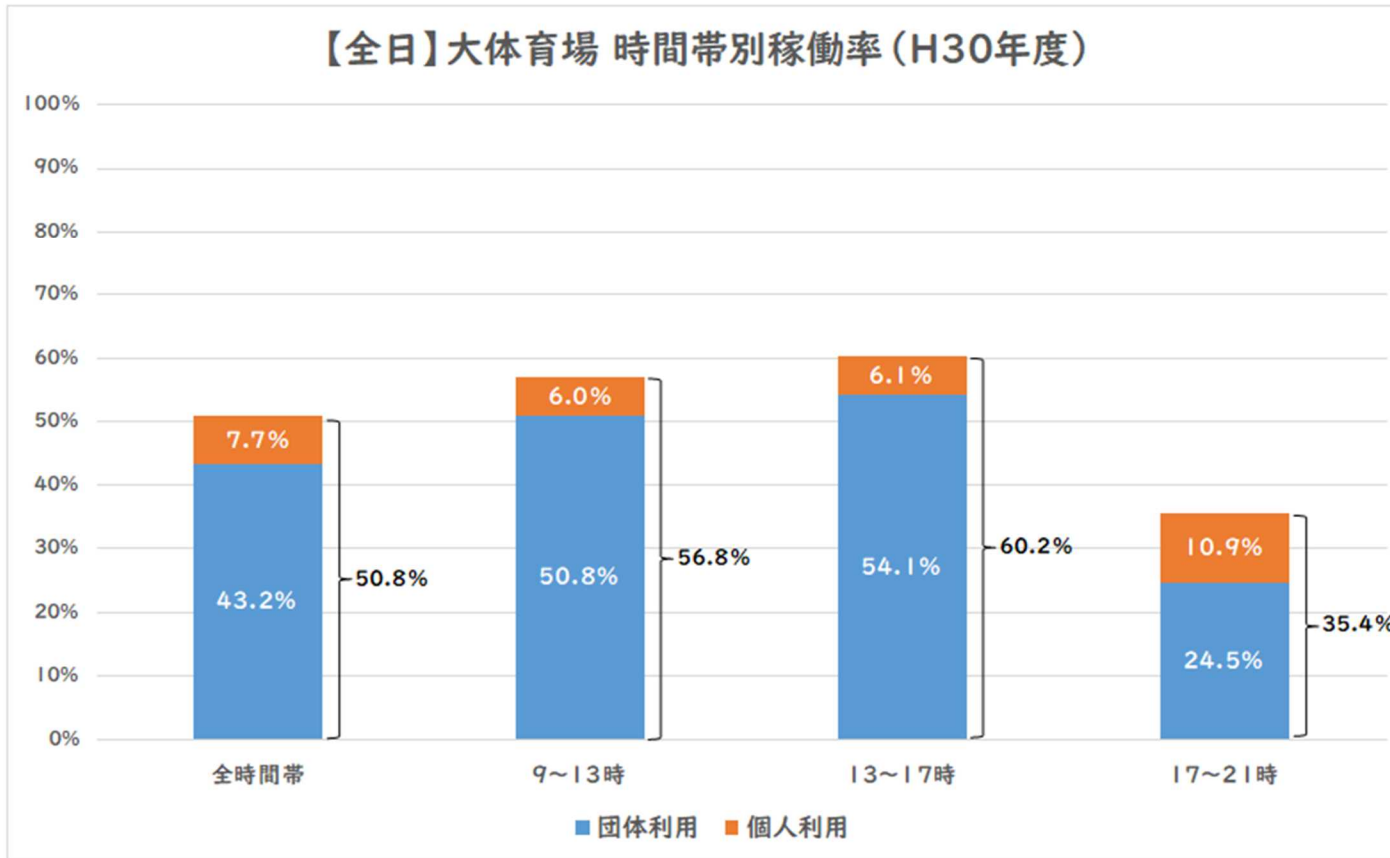
- 平成 30 年度の利用者数を曜日別に分析したところ、土日の利用者が計 55,504 人 (49.9%) と、ほぼ半数を占めていることが分かった。
- 次いで多いのが月曜日で、利用者数は 16,181 人 (14.5%) であった。振替休日でも他の曜日よりも祝日にあたるものが多く、土日祝日の 3 連休を開催期間とした大会、イベント等が行われていることが要因と考えられる。



※大会等で全館貸切で利用するなど、小体育場を付随的に利用している場合については、主目的の大体育場の利用のみを計上している

- 平成 29 年度から令和元年度までの大体育場の利用者数と利用時間数について、「団体利用」と「個人利用」に区分し分析した。
- 利用者数は「団体利用」が全体の約 95%を占めていることが分かった。
- 総利用時間数は各年度とも約 2,100h であったが、いずれも「団体利用」が全体の 8 割以上を占めていることが分かった。

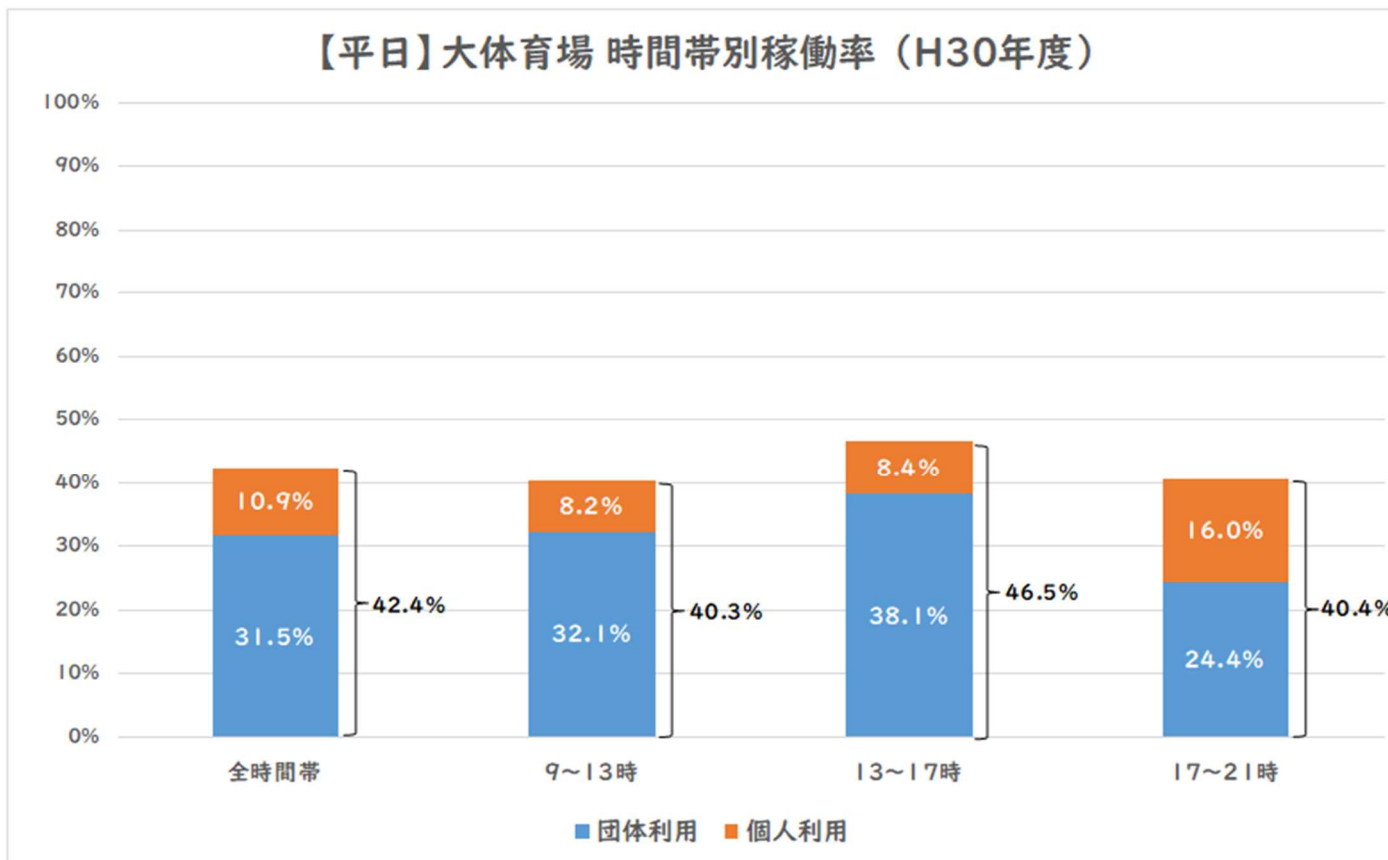
【全日】大体育場 時間帯別稼働率 (H30年度)



※1日あたりの利用可能時間(9:00~21:00)12時間×開館日数359日=4,308時間により稼働率を計算

※時間外利用(~9:00、21:00~)については対象から除いている

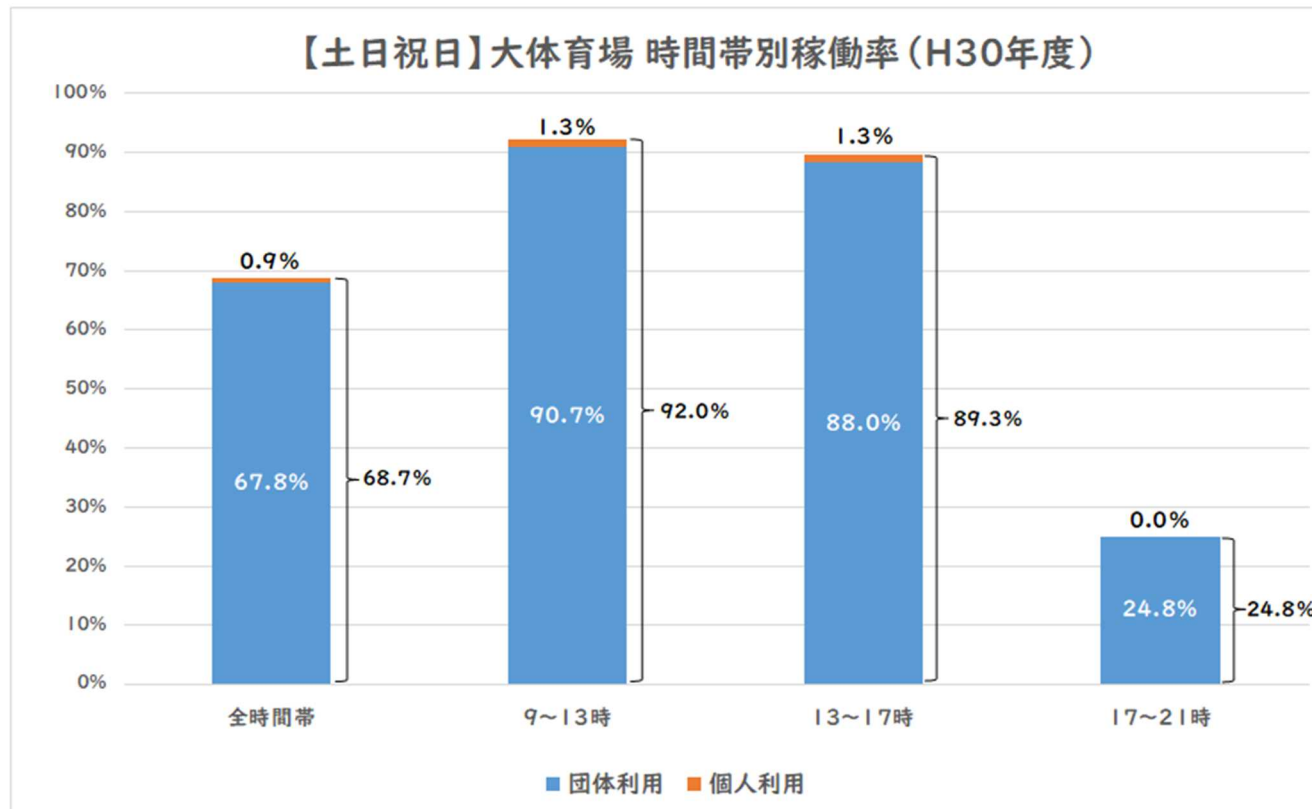
- 年間の利用可能時間(12h/日×開館日数359日=4,308h)をもとに稼働率を算出したところ、「全時間帯」では50.8%(2,189h)、うち団体利用が43.2%(1,859h)、個人利用が7.7%(330h)であることが分かった。
- 「13~17時」の稼働率が60.2%と最も高く、「17~21時」は35.4%と低い。



※1日あたりの利用可能時間(9:00~21:00)12時間×開館日数(平日)244日=2,928時間により稼働率を計算

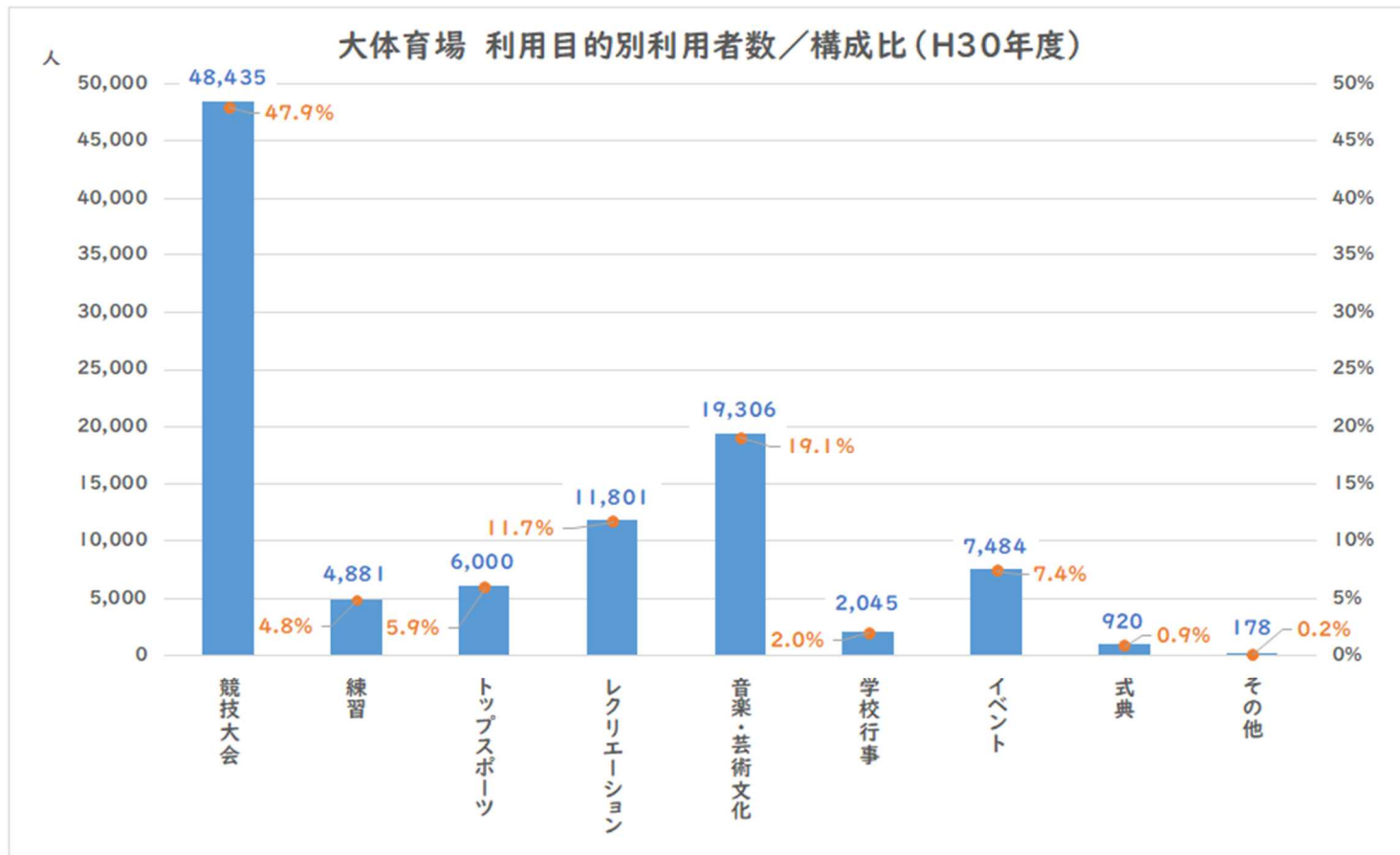
※時間外利用(~9:00、21:00~)については対象から除いている

- 平日の利用可能時間(12h/日×開館日数(平日)244日=2,928h)をもとに稼働率を算出したところ、「全時間帯」では42.4%(1,241h)、うち団体利用が31.5%(923h)、個人利用が10.9%(318h)であることが分かった。
- 各時間帯において、いずれも稼働率は40%台であった。



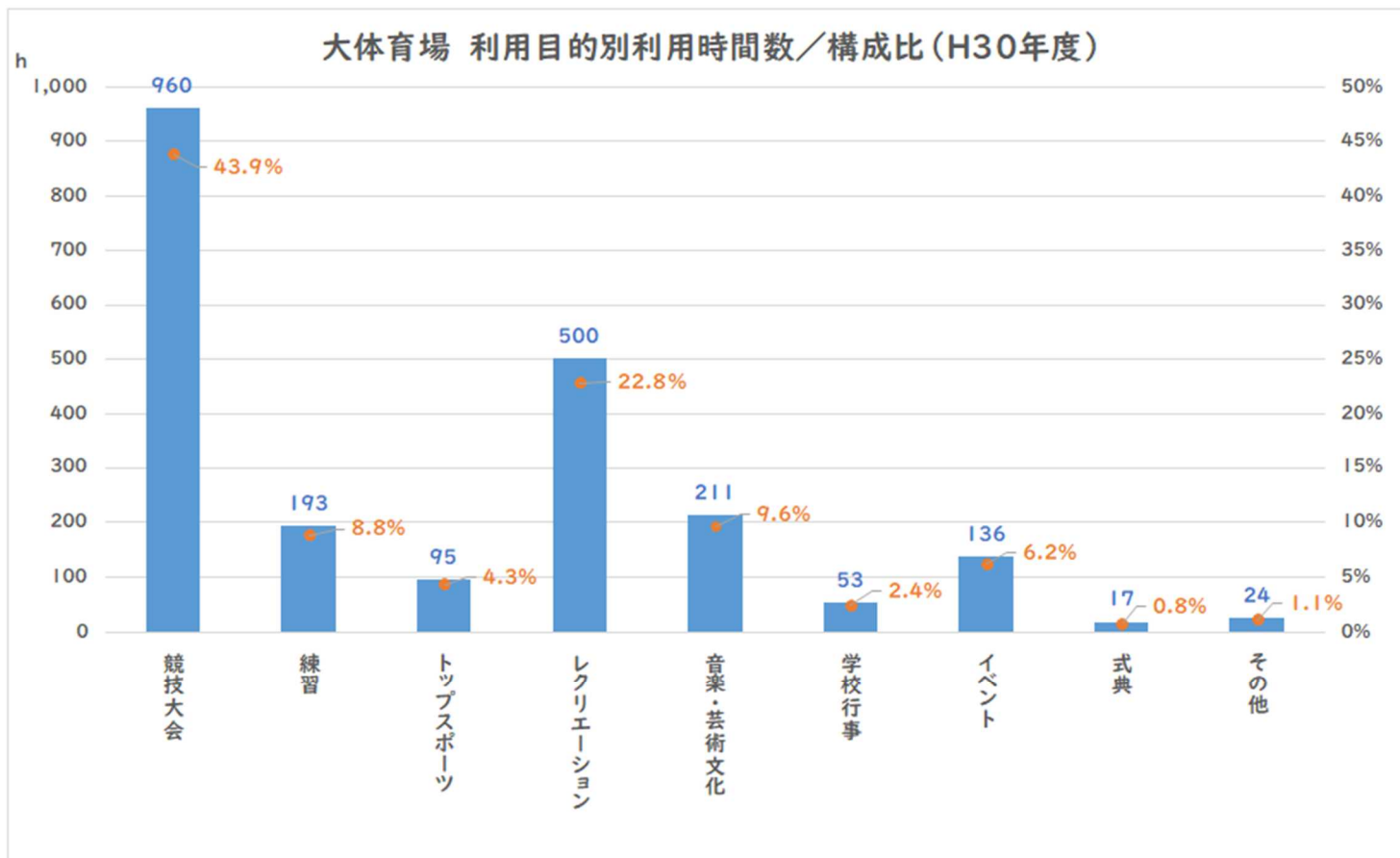
※1日あたりの利用可能時間(9:00~21:00)12時間×開館日数(土日祝日)115日=1,380時間により稼働率を計算
 ※時間外利用(~9:00、21:00~)については対象から除いている

- 土日祝日の利用可能時間(12h/日×開館日数(土日祝日)115日=1,380h)をもとに稼働率を算出したところ、「全時間帯」では68.7%(948h)、うち団体利用が67.8%(936h)、個人利用が0.9%(12h)であることが分かった。
- 「9~13時」、「13~17時」の稼働率は約90%と高いが、「17~21時」の稼働率は24.8%と低いことが分かった。
- 土日祝日は、大会やイベント等が開催されることが多いことから、団体利用が大部分を占めた。



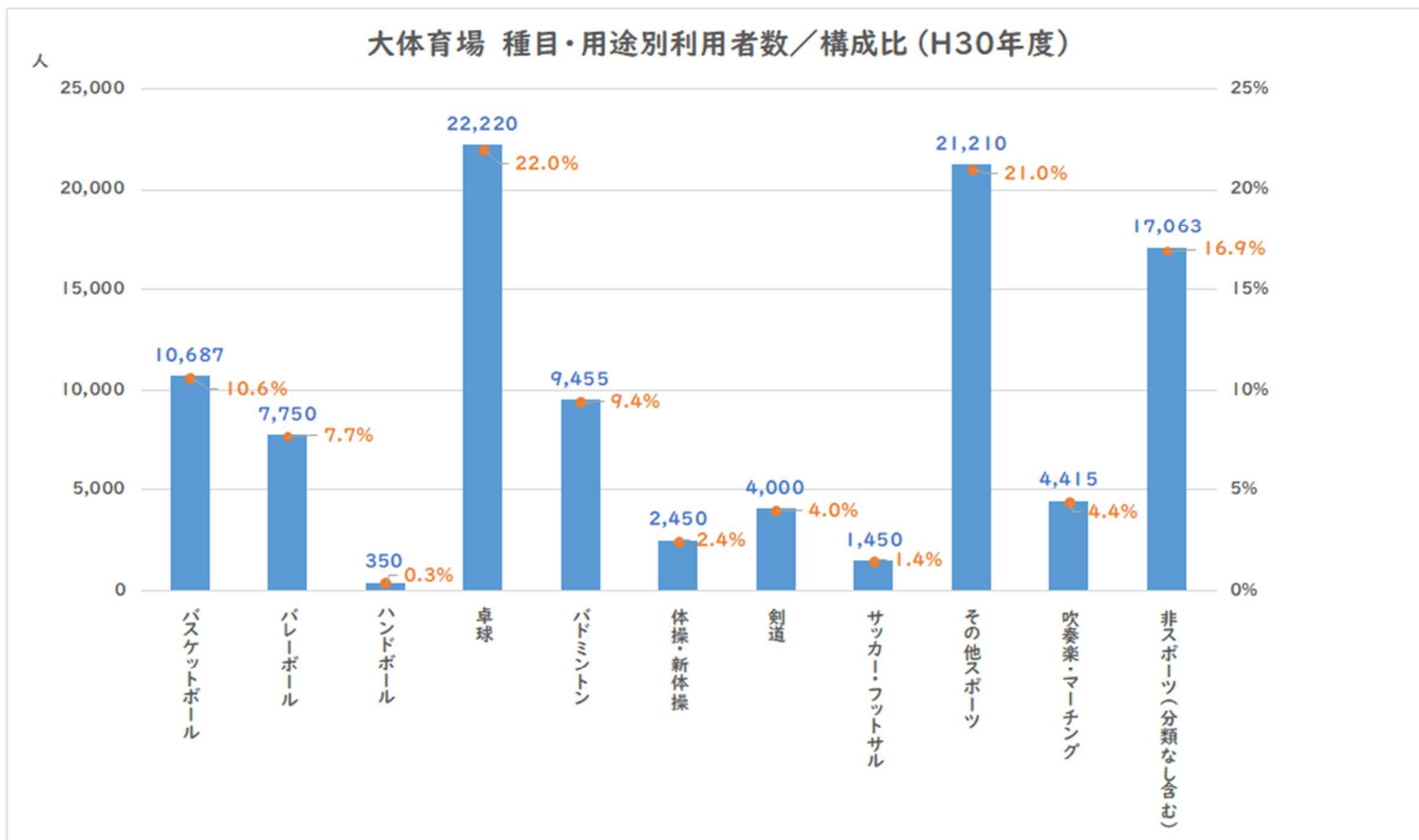
※時間外利用(～9:00、21:00～)については対象から除いている

○ 利用目的別の利用者数を分析したところ、多い順から、①「競技大会」が48,435人(47.9%)、②「音楽・芸術文化」が19,306人(19.1%)、③「レクリエーション」が11,801人(11.7%)、④「イベント」が7,484人(7.4%)、⑤「トップスポーツ」が6,000人(5.9%)となった。



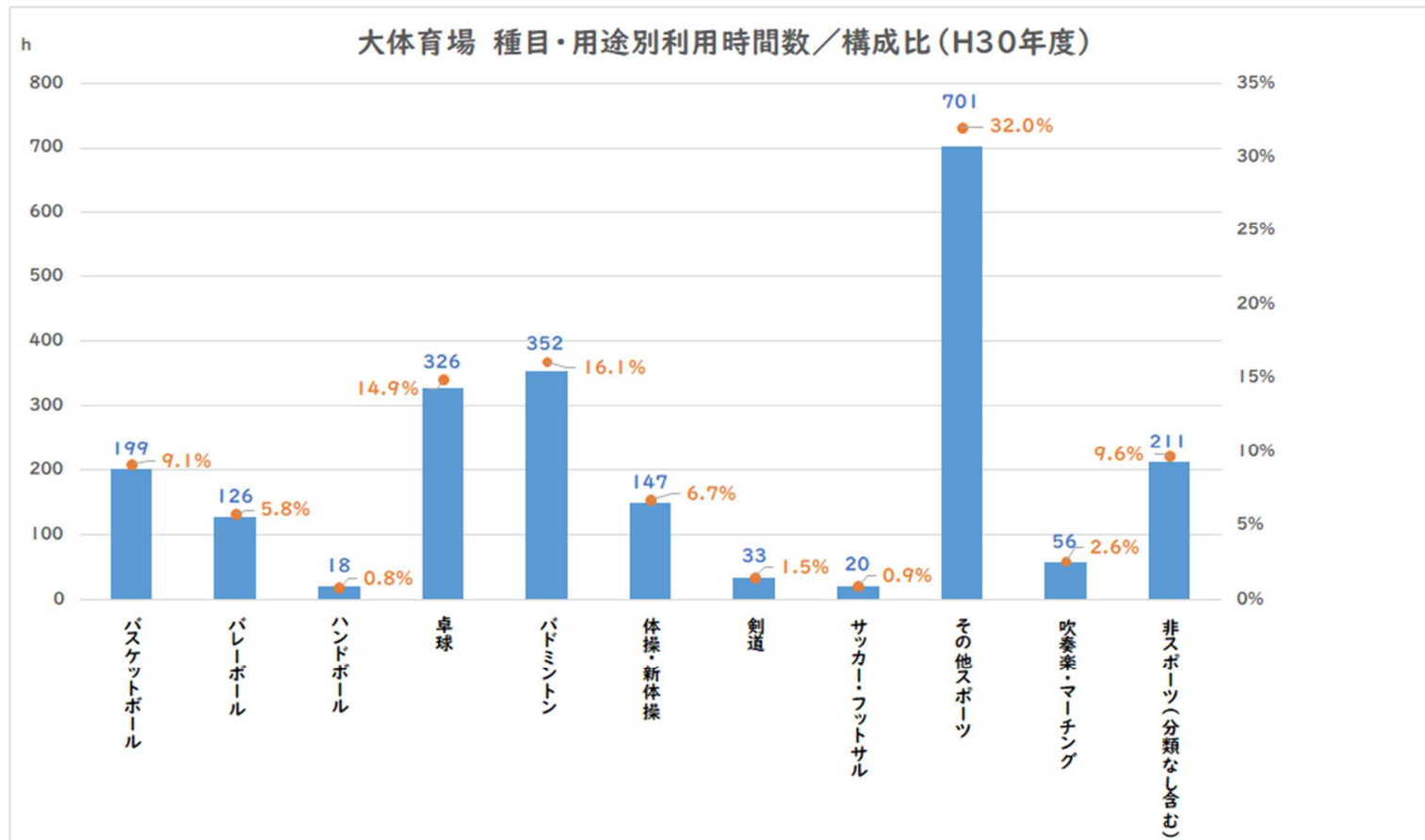
※時間外利用 (~9:00、21:00~)については対象から除いている

○ 利用目的別の利用時間数を分析したところ、多い順から、①「競技大会」が960h (43.9%)、②「レクリエーション」が500h (22.8%)、③「音楽・芸術文化」が211h (9.6%)、④「練習」が193h (8.8%)、⑤「イベント」が136h (6.2%) となった。



※時間外利用(～9:00、21:00～)については対象から除いている

○ 種目・用途別の利用者数を分析したところ、多い順から、①「卓球」が22,220人(22.0%)、②「その他スポーツ」が21,210人(21.0%)、③「非スポーツ(分類なし含む)」が17,063人(16.9%)、④「バスケットボール」が10,687人(10.6%)、⑤「バドミントン」が9,455人(9.4%)となった。



※時間外利用(～9:00、21:00～)については対象から除いている

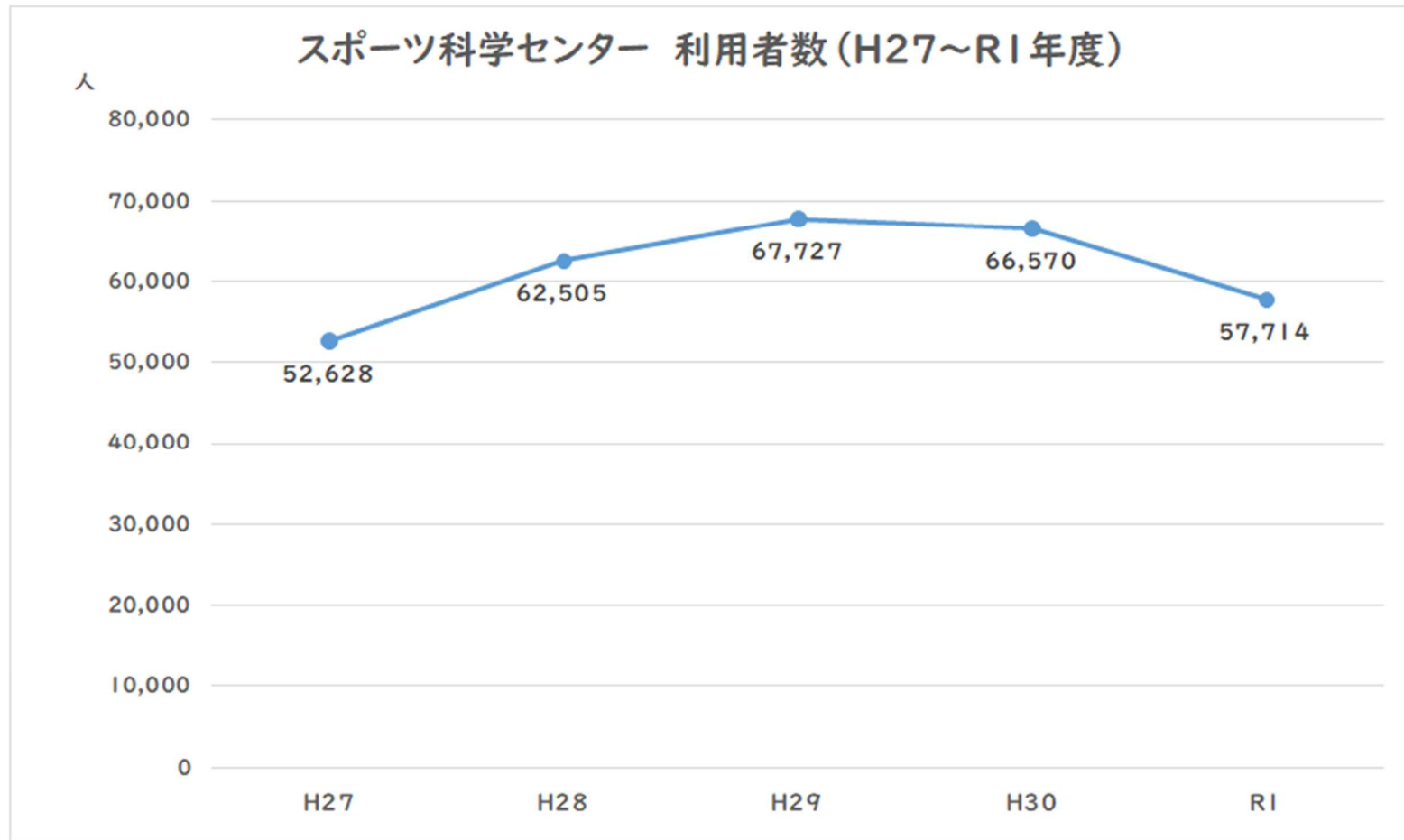
○ 種目・用途別の利用時間数を分析したところ、多い順から、①「その他スポーツ」が701h (32.0%)、②「バドミントン」が352h (16.1%)、③「卓球」が326h (14.9%)、④「非スポーツ(分類なし含む)」が211h (9.6%)、⑤「バスケットボール」が199h (9.1%) となった。

2 スポーツ科学センター

名称	秋田県立スポーツ科学センター
所在地	秋田市八橋運動公園 1-5
築年月	昭和 54 年 1 月（築 43 年）
構造	鉄筋コンクリート造 地上 4 階地下 1 階
面積	建築面積*2, 464. 38 m ² 、延床面積 6, 506. 79 m ²
機能・設備	体育場（1F、3F）、研修室、会議室、トレーニング場、ウェイトリフティング場、クライミングウォール、体力測定室
開館時間	9:00～21:00（毎週月曜日及び 12/29～1/3 は休館）
年間利用者数	約 6 万人（平成 30 年度）
駐車場	約 50 台
運営	県直営

※建築面積 2, 464. 38 m²=2, 417. 40 m²（本館+倉庫）+46. 98 m²（本館と倉庫の通路）

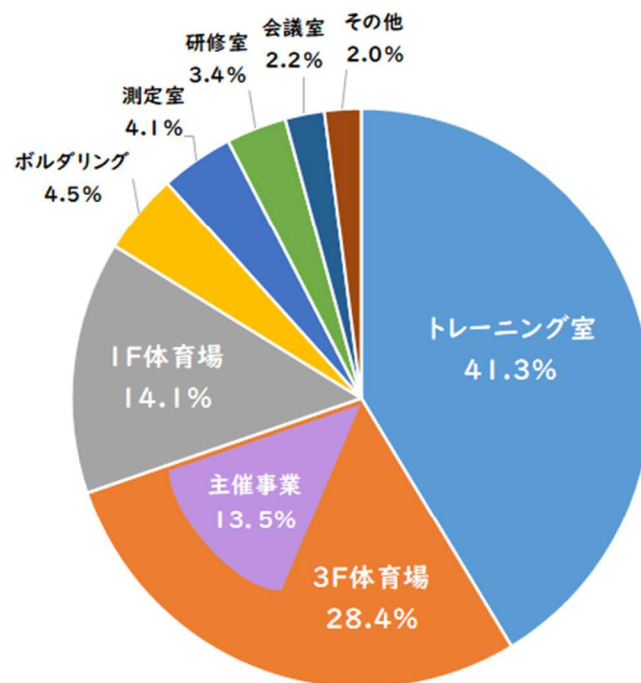
平成 27 年度（2015 年度）から令和元年度（2019 年度）までの 5 年間の利用者数の推移を調査したほか、新型コロナウイルス感染症発生前の直近年度である平成 30 年度について、施設機能別の利用状況や、利用者数が多い「トレーニング場」・「1 F 体育場」・「3 F 体育場」における時間帯別の利用者比率等を分析した。



※主催事業(円熟塾(健康づくり教室)及び太極拳教室)の参加者数を除く

○ 主催事業の参加者数を除く年間利用者数は毎年5~6万人台で推移している。

スポーツ科学センター 機能別利用状況 (H30年度)

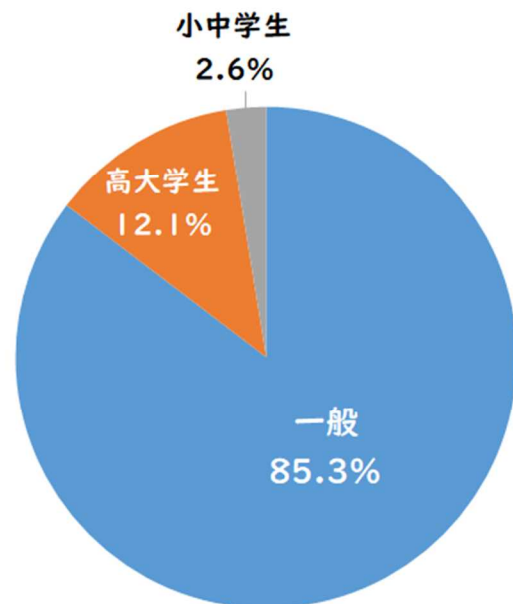


※主催事業 (円熟塾 (健康づくり教室) 及び太極拳教室) の参加者数を含む利用者総数 約77千人の内訳

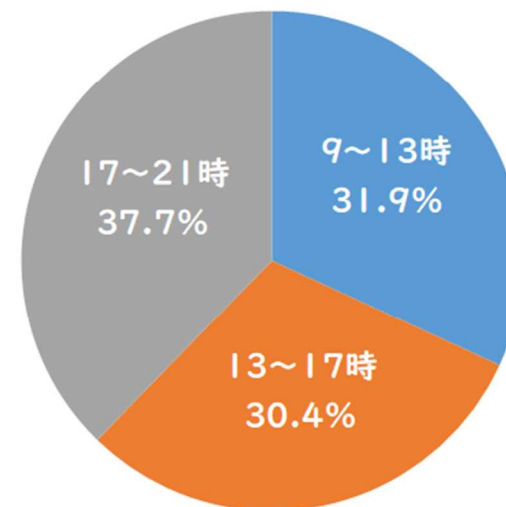
※主催事業は3F体育場で開催されている

- 平成 30 年度の機能別利用状況を分析したところ、トレーニング室と体育場 (1 F ・ 3 F) の利用者が全体の約 84% を占めていることが分かった。
- トレーニング室の利用者が約 41% と最も多いことが分かった。民間のトレーニング施設よりも安価な料金設定 (一般 : 4 時間につき 220 円) のため、月額料金制が基本の民間施設よりも利用しやすいことが要因と考えられる。

【トレーニング場】利用者属性別利用状況(H30年度)

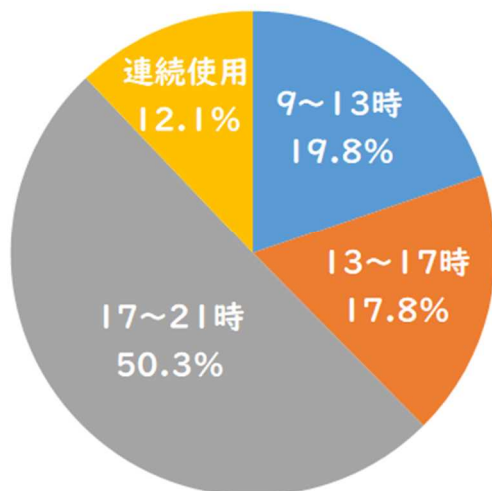


【トレーニング場】時間帯別利用状況(H30年度)



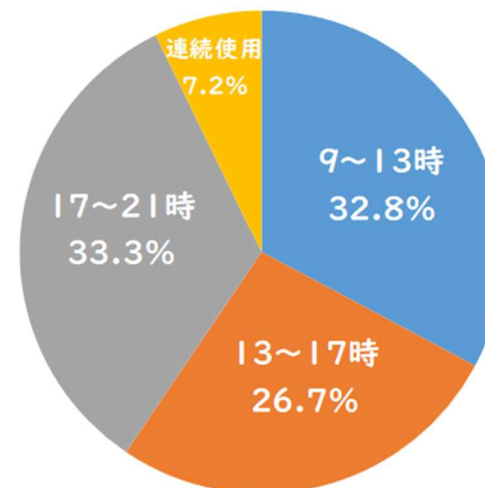
- トレーニング室の利用者数約 31,800 人の利用状況を分析したところ、学生以外の「一般」が全体の約 85%を占めていることが分かった。
- 時間帯別では、「17~21 時」が約 38%と最も多いことが分かった。仕事帰りの社会人（一般）の利用が多いことが要因と考えられる。

【1F体育場】時間帯別利用状況（H30年度）



- 1F体育場の利用者数約10,800人の時間帯別利用状況を分析したところ、「17~21時」が半数を占めていることが分かった。
- 社会人チームや競技団体の練習での利用（バドミントンほか）が多いことが要因と考えられる。

【3F体育場】時間帯別利用状況（H30年度）



- 3F体育場の利用者数約21,800人（主催事業（円熟塾・太極拳教室）の参加者数を含む）の時間帯別利用状況を分析したところ、「9~13時」と「17~21時」の利用が多いことが分かった。
- 「9~13時」は主催事業での利用が多いこと、「17~21時」は競技団体等の練習での利用（フェンシングほか）が多いことが要因と考えられる。